

火 山 號

地 球

第 四 卷 第 四 號

大 正 十 四 年 十 月 一 日 發 行

目 次

圖 版 第 六 版 櫻 島 火 山

第 七 版 咸 鏡 北 道 吉 州 邑 東 方 の 蠶 頭 山

火 山 現 象 に 就 て……………理 學 博 士 小 川 琢 治

硫 黃 島 地 質 見 聞 記……………理 學 士 本 間 不 二 男

笠 山 雜 觀……………文 學 士 小 牧 實 繁

寒 風 山 (地 理 教 材 と し て の 地 形 圖 第 十 五)

……………理 學 士 橫 山 次 郎

ベ ス ビ オ 登 臨 記……………理 學 博 士 松 山 基 範

濟 州 火 山 島 雜 記……………理 學 士 中 村 新 太 郎

京 都 帝 國 大 學 理 學 部

地 質 學 教 室 內

地 球 學 團

大正十三年三月十八日第三種郵便物認可第十四号九月二十五日印刷紙本六冊月一圓一日發行

第四卷第五號十一月號豫告

南滿洲の花崗岩……………理學士 吉田 弟彦

和泉砂岩層について……………理學士 江原眞伍

地球の化學的成分に就いて(ワシントン)……………

アルミニウム鑛床に就いて(ハラソキツチ)……………

英吉利便り(一)……………文學士 寺田 貞次

長崎附近に於ける降水量と地下水……………福井薩男

地理教材としての地形圖(第十六)阿蘇の五峰……………

談 叢

櫻島噴火見た儘……………簡堂 閑人

講 話

朝鮮地名の考説(四)……………理學士 中村新太郎

雜 報

新刊紹介

質疑應答

地球學團第二回講習會開催豫告

多くの學團員諸賢から待ちに待たれた我が學團の第三回講習會を左の項目の通り地學の基礎である地質學及鑛物學の各方面を主題として開催する。本回も亦學團員の熱誠な御賛加を希望する。

開期 大正十四年十二月二十四日より同二十九日まで六日間。

會場 京都帝國大學理學部生物學講堂(地質教室の向ひ)

講義題目及講師

- 地殼論 小川 琢治
- 鑛物學汎論 石川 成章
- 地史學一斑 中村新太郎
- 古生物學總論 横山 次郎
- 岩石學特論 本間 不二男

講義時間割

十二月二十四日(木)	午前九時	午後一時
十二月二十五日(金)	午前九時	午後一時
十二月二十六日(土)	午前九時	午後一時
十二月二十七日(日)	午前九時	午後一時

小川 琢治
石川 成章
中村新太郎
横山 次郎
本間 不二男

十二月二十八日(月)

本間

中村

見學

十二月二十九日(火)

大和ニ上火山

指導者 本間、上治、君塚

茶話會

十二月二十六日午後四時半より六時半まで。

講習會員定數

百二十名

申込期限

十一月三十日迄に地球學團に申込みこと。

會費其他

會費金五圓、御出席の上會期の初めに係員へ御納めのこと。猶見學の際の乗車賃

(約二圓)は御自辨のこと。

宿泊所

宿泊希望の向は前以て御通知あらば宿所を定め置く、一泊中食附二圓内外。京都市上

京區田中門前町四三(百萬遍西門横)村上靜宜館へ行かれると御便宜を計る。

講習會員資格

地球學團員に限る。此の際地球學團へ入團希望の方は「地球」購讀費半箇年分以

上を地球發行所なる内外出版株式會社(京都市下京區西洞院通七條南)へ前納した上、地球學團

へ宛て入團及び講習會賛加を申込みたい。

大正十四年十月

地球

第四卷
第四號

地球

第四卷
第四號

(火山號)

十月號

目

次

圖版 第六版 櫻島火山

第七版 咸鏡北道吉州蠶頭山

火山現象にて就いて

理學博士 小川 琢治 (二二)

硫黃島地質見聞記

理學士 本間不二男 (二九)

笠山雜觀

文學士 小牧實繁 (三〇九)

寒風山

理學士 槇山次郎 (三二)

(地理教材としての地形圖第十五)

ベスピオ登臨記

理學博士 松山基範 (三三五)

濟州火山島雜記

理學士 中村新次郎 (三三五)

前號(第四卷第三號)要目

- 但北地震の震源の深さ……………理學士 熊谷直一
 と震源の性質に就て……………理學士 小川琢治
 東亞地質構造論から(下)……………理學博士 小川琢治
 觀た地震現象の説明……………文學士 小牧實繁
 古代四國の聚落に就て……………文學士 西龜正夫
 關東大震災と神戸港……………文學士 西龜正夫
 世界に於ける魔術の分布(三)……………夏見寛治
 地理教材としての地形圖(十四)加古川附近……………夏見寛治
 千島及北海道地形測量餘談……………陸地測量部地形科
 談 叢

- 死の河の探検……………F・G・スミス
 講 話
 朝鮮地名の考説(二)……………理學士 中村新太郎

雜 報
 新刊紹介
 質疑應答

前々號(第四卷第二號)要目

- 圖版 第四版但北地震—圓山川河口と田結の震害
 第五版 スピツベルゲンの海岸
 東亞地質構造論から觀た地震現象の説明(上)……………理學博士 小川琢治
 日本白聖紀三角介……………理學博士 矢部長克
 砂岩中の化石帶……………理學博士 井上禧之助
 極地の群島スピツベルゲン……………理學博士 井上禧之助
 世界に於ける魔術の分布(二)……………夏見寛治
 伯林だより(ペンク教授の近況)……………文學士 寺田貞次
 地理教材としての地形圖(十三)(十和田湖)……………寺田貞次
 談 叢

- 中世風流跡の名殘……………鶴岡學人
 講 話

- 朝鮮地名の考説(二)……………理學士 中村新太郎

雜 報
 新刊紹介
 質疑應答

地球學團規約

- 第一條 本學團を地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川通分町京 都帝國大學地質學教室内に置く。又會員が多い地方には支部を置く事がある。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。
 雜誌並に圖書の刊行
 雜演並に講習會の開催
 實地見學の指導
- 第五條 本學團員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第六條 本學團員になりたくない人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を、發行所へ送金する事。
- 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

註文規定

- 購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- 振替貯金にて御送金は、振替大阪三二九五番三九三一番東京三三三一番、内外出版株式會社宛に願上候
- 御金切れの場合に「前金切」の印章捺捺致すべくに付直に御申込下され度候
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券差錢御送付下され度候

價定

一册	定價金五十錢	郵税金貳錢
六册(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二册(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料

一頁 金五拾圓 半頁は取扱不申

大正十四年九月廿五日印刷納本
 大正十四年十月一日發行

第四卷
 第四號

不許複製
 禁止轉載

發行所

京都市下京區西洞院通七條南

内外出版株式會社

編輯者 京都帝國大學地質學教室内 地球學團
 右代表者 藤田元春
 發行者 大谷仁兵衛
 印刷者 田中和一郎
 印刷所 内外出版株式會社印刷部
京都市西洞院通七條南

振替口座 大阪三二九五番
 東京三三三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南
 出張所 京都市京橋區加賀町十番地
 販賣所 京都市神田區錦町一十九

内外出版株式會社

所捌賣

東京 東京堂 北隆館
 大阪 上田屋
 神戶 寶文館
 京都 共盛社
 名古屋 マガジン
 東京 東誠堂
 大阪 三日文堂
 川瀨 大瀨盛進社
 川瀨 瀨盛堂

CHIKYŪ - THE GLOBE

Vol. IV. No. 4. VOLCANO NUMBER October, 1925

Plate VI. Sakurajima, Kyūshū.

Plate VII. Somori-san, Kisshū, Korea.

On the Volcanic Phenomena.....

By T. Ogawa, *R. H.*.....261

Geological Observation of Sulphur Island, on the Pacific.....

By F. Homma, *R. S.*.....290

Notes on the Kasayama, a Volcanic Hill, Nagato Province...

By S. Komaki, *B. S.*.....309

Kampū Volcano.....

By J. Makiyama, *R. S.*.....312

Sighting to Vesuvius.....

By M. Matsuyama, *R. H.*.....315

Geographical and Geological Notes of Saishū-tō (Quelpart Island), Korea.....

By S. Nakamura, *R. S.*.....325

Chikyū Gakudan

Kyōto.

大正十四年三月廿八日出版 大正十四年四月二十日印刷 柳屋精本 總發行所 東京 四番地四號